

## ワークショップ°WS1-3 溺水心停止後の集学的治療により社会復帰した一例

柳川洋一<sup>1)</sup> 鬼塚味佳<sup>1)</sup> 柳川良子<sup>2)</sup>  
太田宗一郎<sup>1)</sup> 村松賢一<sup>1)</sup> 長澤宏樹<sup>1)</sup>  
竹内郁人<sup>1)</sup> 日域 佳<sup>1)</sup> 大坂裕通<sup>1)</sup> 石川浩平<sup>1)</sup>

1) 順天堂大学医学部附属静岡病院  
2) 伊豆保健医療センター

療が、通常溺水心停止の予後は不良であるが、それを覆す結果となったと考えられた。

### 【症例】

28歳女性

### 【主訴】

溺水による心停止

### 【現病歴】

初めてのダイビング中、2mほどの深さで意識消失し、周囲の人に引き揚げられた。呼吸停止していたため、すぐにbasic life support 開始。119 call と共にautomated external defibrillator (AED) 装着。2回AEDが作動したのち救急隊が接触。初期波形は無脈性電気活動 (PEA)。ダイビングプロフィールは不明。

### 【既往歴・家族歴】

特記事項なし

### 【時間経過】

12:20 溺水発生, 12:29 救急要請, 12:36 救急隊接触時初期波形 PEA, 12:58 病院到着, 波形PEA継続。挿管, 静脈路確保, アドレナリン1mg投与したところで 13:07心拍再開。瞳孔散大, 深部体温 33.4 °C。血液ガス結果:pH 6.57. base excess -37.2 mmol/L, lactate 22 mmol/L.

### 【臨床診断】

蘇生後脳症, 偶発性低体温, 誤嚥性低酸素血症, 電解質異常, 高血糖。

### 【入院経過】

低体温療法並びに人工呼吸器管理施行。復温後, 鎮静剤投与を終了し意識レベルを確認。意思疎通良好なため, 第3病日に抜管。リハビリ施行し, 誤嚥性肺炎の治療後, 後遺症なく11病日に退院。

### 【結語】

偶発性低体温による脳保護作用, 若年性心停止, 救命の連鎖, 蘇生後の低体温療法を含めた集学的治